


愛媛大学・社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座シンポジウム  
 ～愛媛と四国の社会基盤を維持管理する技術者人材育成プロジェクト～  
 2015年1月9日 14:30～16:40 愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホール

# ME養成講座を終えての感想

(株)芙蓉コンサルタント 須賀 幸一  
 (ME養成講座講師)

## はじめに

- H25年度のME試行講座に参加
  - H26年1月6日～8日:地盤構造物の維持管理(講義&演習)
- H26年度ME養成講座(民間からの参加)
  - H26年10月31日:橋梁の維持管理&フィールドワーク
  - H26年11月17・18日:斜面・のり面維持管理&フィールドワーク
- 山下・廣田先生などの想いも合わせて



## 技術者人材育成プロジェクトについて

日本が抱える

- **インフラの維持管理は喫緊の課題!**
  - 人口急減社会の予測(地方消滅!)
  - 地域に必要なサービスの維持>インフラの補修
- **新しい技術分野であり、産官学民の取組**
  - 作る技術(理論)から、点検、診断、補修の臨床的技術
  - コンパクトシティのネットワーク機能<地域社会の存続  
(施設よりも人)

**逆転**の発想!

## 新たな技術者(社会人)の育成

- **新たな社会人教育の場**
  - それぞれ職場を経験した実務者を対象
  - スペシャリスト**としての**経験**があり第一線で活躍
- **俯瞰的にメンテナンスを学ぶ**
  - アセットマネジメント**の切り口で各分野を俯瞰的に観る
  - 知識**だけの教育ではなく、(初心)**こころざし**を磨く場
  - メンテナンスの**エキスパート**としての**資質**を磨く
- **継続的な人材育成**
  - 人的ネットワークの形成(産官学)

## ME養成講座について

- **維持管理のマネジメントサイクル**
  - 計画・設計・施工+維持管理(点検・診断・予測・補修)
- **評価は性能設計(要求性能<保有性能)**
- **マニュアルで得た知識は?**
  - マニュアル通りの現場は少ない。
  - 現場では、正解のない問題にいかにかに答えるか?
- **座学+演習+フィールドワーク+WS**
  - 自分自身で観て考える! <右城、廣田、須賀の意見

ME養成講座 5日目 2時限目:構造物の維持管理(実習) 平成26年(2014年)10月31日(金)





### 受講生のコメント(アンケート)

- フィールドワークで戸惑う場面が多かった
- 一定以上の技術を持った人でないと点検はできない?
- 重大なポイントを見落としていないか不安
- 講師に点検結果(正解)を示して欲しい

↓

- 講義で学んでも人により着眼点が異なり、見え方も違うことがわかった
- 一人より複数の眼による点検・診断が重要

### 講師の感想

- 一回の現場体験で、知識やノウハウを学ぶのは無理
- **現場体験から何を学ぶか?**
  - 幾つかの実例から普遍的な知識ベースを類推する
  - 一つの事例を観ることより、普遍的な問題を推測する
- といった姿勢・態度を体験する!?**
- **一人ではできないが**
  - **複数の眼や頭脳により、体験**できる?

**学びの法**  
継続的な資質向上に重要!

### 今後の期待と課題

- **新しい公共事業としての期待**
  - インフラの維持管理が地域産業を担う期待がある反面
  - 労働集約的な市場になるのではないかと心配
  - 福祉の分野でも多くのニーズがあるが、現場では人手不足
- **その担い手を確保できるのか?**
  - 大量に人を投入する維持管理は、既に破綻?
  - 減少する若手技術者が志を持って、働ける環境の構築
- **ME養成講座による人材の育成**



### 最後に

- **学:** 維持管理の研究、カリキュラムの導入、新しい知識を持った人材育成、社会人教育
- **産:** 維持管理の調査、設計、工事における技術開発、点検、診断技術の向上
- **官:** 継続的な人材の確保を前提とした事業の推進、新技術の採用、後押し
- **地域社会**でインフラ活用と維持の議論できる産官学のネットワーク(MEの会)の拡大